

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No.12-002
 担当 渋谷
 内線等 327

PDCA	事務事業名	観光サイン設置事業	部課等名	市民経済部 観光課 観光 担当		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち 節： 第1節 観光・産業の振興 基本施策： 1. 観光 単位施策： (1) 観光資源の活用 個別施策： ③回遊性のあるまちづくり				
	根拠法令等	—				
	対象・目的	半田市の主要観光エリアやスポットに、観光客の移動の利便性、回遊性の向上及び魅力の発信を目的として、観光客向けの観光エリア案内板や解説版を設置する。				
	目的を達成するための手段・活動内容	蔵のまち公園（荒古町2丁目）内に観光案内版1基を新設する。				
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位
		①観光サイン設置数	2		1	基
		②観光サイン更新数		4		基
		事業費	2,368	269	2,023	千円
		人件費	635	317	621	千円
		総事業費	3,003	586	2,644	千円
	活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
	①観光サイン1基あたりの事業コスト	1,502	147	2,644	千円	
	成果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位
		①観光サイン更新数	実績値	2	4	1
目標値			4	4	1	
②		実績値				
		目標値				
③		実績値				
	目標値					
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ない		
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ない			
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 ない			
事業の評価・課題	B HOTORIイベント等で多くの観光客が利用する蔵のまち公園（荒古町2丁目）に、周辺地図及び観光施設を紹介する観光案内板1基を新設し、観光客が半田運河周辺を回遊する際の利便性の向上を図ることができた。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	現状維持 令和2年度は「ごんの秋まつり」等で多数の観光客が訪れる岩滑エリアに設置されている木製案内板の一部（3基）が腐食損傷しているため、金属製案内板に付け替える。その他の歩行者誘導系サインも老朽化が進んでいるため、今後、順次取り替えし、観光客の利便性向上を図っていく。				
	令和2年度の目標	成果指標			目標値	単位
		①観光サイン更新			3	基